

△区域メッセージ レムナント運動と私の 24 (Ⅱテモ 2:1-7)	△聖日 1 部礼拝/ RTS 主日 最後の宣教地 (ヨハ 3:1-16)	△聖日 2 部礼拝/一般信徒宣教献身礼拝 サマリヤ伝道 (ヨハ 4:13-26)			
<p>奴隷、捕虜、属国の民、流浪の民、散らされた者、旅人</p> <p>残しておいた者</p> <p>↓</p> <p>残った者</p> <p>Remnant</p> <p>残りの次世代、捨てられた者 (ゴミ)</p> <p>△レムナント運動と私の 24 は、私たちが一番味わわなければならない祝福だ。神学をする理由は、神様のみことばを正しく見ようとする事なのに、神学のゆえに神様のみことばを正しく見ないようにすれば大変だ。福音が必ず宣べ伝えられなければならないので「奴隷、捕虜、属国の民、流浪の民、散らされた者、旅人」として行き、この人たちの中に、神様が福音を伝えるために「残しておいた者」がいるのだ。その中で育った次世代が変えたのだ。これを人の言葉で「残りの者」、英語で「Remnant」と言う。このことばは、「残りの次世代、捨てられた者」とも言い、おかしなことに「ゴミ」を言う時にも使った。私たちが見るとき、ゴミのように見えるが、神様がご覧になるときは、残りの者だ。この単語は、聖書でキリストの次に重要な単語だ。</p> <p>□序論_回復</p> <p>聖書には時代ごとに残りの者をエジプトに、荒野に、ペリシテに、多くの「難しい」ことの中に送られた。実際には「世界」の中に送られたのだ。</p> <p>□本論</p> <p>1. レムナント</p> <p>1) 残りの者-神様の契約を回復する者</p> <p>2) 残る者-神様の力を回復して人を生かす者</p> <p>3) 残れる者-暗やみ文化を福音文化にする残れる者</p> <p>4) 残す者-次世代を生かさなければならない残す者</p> <p>2. 答え-レムナントに神様は準備された答えを与えられる。</p> <p>1) 霊的サミットにならせられる。</p> <p>2) 技能サミット-霊的サミットから出る技能でサミットにならなければならない。</p> <p>3) 文化サミット-霊的な技能の中から出てくる答えが文化サミット</p> <p>3. あらかじめ-レムナントはすでに準備したので、あらかじめ備えさえすればよい。</p> <p>1) サミットタイム-レムナントはこの時間を持ってサミットになる。</p> <p>2) サミット姿勢-サミットなので、サミット姿勢を持たなければならない。</p> <p>3) サミット器-サミット器を準備しなければならない。</p> <p>□結論</p> <p>1. ヨセフ (創 37:11) -ヨセフがどんな人物なのか、ヤコブが心に留めたが成就</p> <p>2. ダビデ (詩 78:70-72) -最も大切な牧場をダビデに任せた。</p> <p>3. エリシャ (Ⅰ列 19:19-21) -最も難しい時期にエリヤについて行った。</p> <p>△この祝福を礼拝時間に、賛美するとき、長老が祈るとき、神様のみことば聞いて確認するとき、祈りで味わわなければならない。それだけでも世の中を変える。</p>	<p>△大邱のカエル少年事件とアメリカ銃器事故は、憤りにぎっしり埋まった人々のことだ。誰も解決できないことが全世界に起こっている。</p> <p>□序論-聖書に答え</p> <p>1. 暗やみの中で、私の霊が閉じ込められているため (ヨハ 3:19、20)-イスラエルと次世代が減ぼされる理由</p> <p>2. イエス様を訪ねてきたニコデモ</p> <p>1) 金持ち (ヨハ 19:39) -没薬とアロエ 30 キログラム (イエス処刑当時)</p> <p>2) パリサイ人 (全国 6 千人)</p> <p>3) ユダヤ人の指導者 (司法権を持っている公会員)</p> <p>4) 福音を味わえないクリスチャンが見るなら、ロールモデル</p> <p>3. ニコデモが訪ねてきた本当の目的とイエス様の的外れな答え</p> <p>△すごいイエス様のしるしを言うニコデモにイエス様は「人が新しく生まれなければならない神の国を見ることはできない」と的外れな答え。</p> <p>1) ニコデモが本当に質問したかったことは「私はどのようにすれば力を持って限界から抜け出すことができるのか」だ。</p> <p>2) 人々の関心が他の所に!-中世の戦争と滅亡、教会問題、精神病が急増する理由</p> <p>3) 主のしもべが違うことに関心があれば死ぬ。</p> <p>□本論-暗やみを止めることができる道</p> <p>1. 新しく生まれてこそ神の国を見ること (ヨハ 3:3) -まことの祝福回復</p> <p>1) Ⅰペテ 1:3、23 (いのちの種で新しく生まれる)、ガラ 2:20、Ⅱコリ 5:17、ガラ 6:15 (新しく創造) -この祝福から受けなさい</p> <p>2) 上から生まれるその力で新しく生まれなければならない-天の御座と三位一体の神様と、そのものすごい力が私に来ている。ユダヤ人が関心がなかったこの力を握りなさい。</p> <p>3) 朝-三位一体の神様と御座の力、時代を変えるミッションが臨む祈りをゆっくりと呼吸とともに始めれば、暗やみから完全に抜け出す</p> <p>2. 聖霊とともに働いて働き-まことの力を回復</p> <p>1) 聖霊の働きを価値なく見て、霊的問題が来ること</p> <p>2) 創 41:38 (この力を次世代に伝達)、ゼカ 4:6、使 1:8 これを信じるとき、世界福音化が起こる</p> <p>3) 難しい世の中と職場生活-あらゆる事を祈りに変えなさい。</p> <p>3. 暗やみの中に光が必要-まことの光を伝達</p> <p>1) ヨハ 3:20 暗やみの中にいる人々</p> <p>2) 私たちに創造の光が必要</p> <p>3) この光を祈りで受けて伝達すること-イエス・キリストの御名で私と病氣の人をいやしてみなさい。「聖霊と創造の光で私をいやしてください」</p> <p>□結論_最後の宣教地は</p> <p>1. イスラエル-3 団体の主役、世界 3 次大戦の原因</p> <p>2. クリスチャン-福音なく他のところに関心</p> <p>3. 牧会者-世の中のことでない福音を味わいなさい</p>	<p>伝道は真実に、心でするならば、続けて開かれる。伝道、宣教するとき、何から知らなければならないのか。</p> <p>□序論_傷</p> <p>△傷は霊的なものであり、かかれはずと根をおろして霊的成長が止まる。会う人に一番最初に福音の中でこれをなくさなければならない。</p> <p>1. RT 7 (TCK) -行き来するところがなくて、誰も助ける者がなかった。傷が土台となったが、ものすごい伝道者に変った。</p> <p>2. ヘブ 11 章 (死) -特徴が死だった。</p> <p>3. 初代教会 (断絶) -イエスを信じるという理由で、すべての社会から断絶させてしまったが、ローマまで征服した。</p> <p>□本論_サマリヤ伝道</p> <p>1. 時代の障壁 (サマリヤ) を崩すこと (4-15 節)</p> <p>1) BC722-アッシリヤの侵略、サマリヤの男たちを奴隷として売って、外国の男たちをサマリヤに連れてきて国際結婚。ユダの人々は雑種として見た</p> <p>△伝道、宣教分かなければ、暗やみのためにみじめになる。みなさん自体が暗やみを崩す光、サタンに勝つ光だ (マタ 5:14、イザ 60:1)</p> <p>2) BC606-バビロンに捕虜になった南ユダ</p> <p>3) BC450-神殿再建するとき、南ユダの人がサマリヤ人の参加を防ぐのでサマリヤが妨害</p> <p>4) BC129-サマリヤのゲリジム山の神殿を破壊</p> <p>5) 敵 (断絶) -敵のようになって断絶</p> <p>△そこにイエス様が行ったのだ。</p> <p>2. 個人の傷を崩されたイエス様 (16-19、25-30 節)</p> <p>1) 五人-前にいた夫五人はあなたの夫ではない。</p> <p>2) 今の夫-あなたの夫ではない。</p> <p>3) 証人-イエスがキリストということに分かる瞬間、証人へ変わった。</p> <p>△相手が傷を出すほどにならなければならない。ここで 237、いやし、サミットが 24 にならなければならない。</p> <p>3. 宗教の傷を洗うべき (20-24 節)</p> <p>1) 私たちはゲリジム山で礼拝して、あなたはエルサレムで礼拝するのではないのか</p> <p>2) 神様に-この山でも、あの山でもなくて神様に礼拝するのだ。</p> <p>3) 霊と真理、霊とまことによって-どこでも神様に礼拝すれば神様は霊で働かれる。</p> <p>△その国に本人を殺す長く続いていること、個人の傷、礼拝を正しくささげられないようにする誤った宗教の傷がある。解かなければならない。</p> <p>□結論</p> <p>1. まことの福音-他のことが必要ない。そうしてこそ、他のことを生かすのだ。</p> <p>2. まことの祈り-すべてが問題にならない。そうしてこそ、すべてを生かすのだ。</p> <p>3. まことの伝道-神様の主権中にあることだ。</p> <table border="1" data-bbox="1471 1396 2143 1428"> <tr> <td>朝 (静かな祈り)</td> <td>味わう祈り</td> <td>夜 (深い祈り)</td> </tr> </table> <p>△毎日、新しい力を得なければならない (使 1:8)</p>	朝 (静かな祈り)	味わう祈り	夜 (深い祈り)
朝 (静かな祈り)	味わう祈り	夜 (深い祈り)			